

成人看護学臨地実習Ⅱ

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：実習

単位：2単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：成人期にある対象の特性と看護ケアの特殊性を理解し、看護に必要な基本的知識、技術、態度を養う。疾病・健康問題に応じた生活支援と保健医療チームについて学ぶ。

- 到達目標**：①成人期にある対象の特性と看護ケアの特殊性が説明できる。
②健康障害が対象と家族に及ぼす影響について、多角的な視点で統合的にアセスメントできる。
③対象の健康問題と強みを明らかにし、健康回復、適応促進、生活の再構築に必要な看護ケアの計画・実践・評価という一連の看護過程を展開することができる。
④対象の療養生活を支援する保健・医療・看護・福祉チームの役割と機能について説明できる。
⑤看護専門職を目指す学生として、自覚と責任を行動で示すことができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎工藤 京子・小田 和美・川村 三希子・貝谷 敏子・神島 滋子・菅原 美樹・藤井 瑞恵・小坂 美智代・柏倉 大作

■**授業計画・内容**：

実習施設：市立札幌病院

実習方法：実習要項参照

■**教科書**：なし

■**参考文献**：適宜、担当教員と相談すること

■**成績評価基準と方法**：実習内容・提出された実習記録物、実習態度、ケースカンファレンス、レポートから実習目標の達成度を総合的に評価します。

| 評価方法 | 到達目標 | | | | | 評価基準 | 評価割合 (%) |
|------------|------|-----|-----|-----|-----|----------------------|----------|
| | 目標① | 目標② | 目標③ | 目標④ | 目標⑤ | | |
| 実習内容と記録 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | 目標の達成度を4段階で評価する | 80 |
| 実習態度 | | | | | ◎ | 積極的に実習に臨む姿勢とチームへの貢献度 | 10 |
| ケースカンファレンス | | ○ | ○ | | | 簡潔明瞭な事例紹介と看護実践の報告 | 5 |
| 実習レポート | ○ | ○ | ○ | | | テーマに適した内容 | 5 |
| 出席 | | | | | | 2/3以上の出席 | 欠格条件 |

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：全ての既習科目が該当する。特に看護過程論、成人看護学概論、成人看護援助論、成人看護技術論、形態機能学、疾病治療論など。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：成人看護学領域における集大成となる実習です。これまでの学修内容を整理し、自己課題を明確にして、主体的・計画的に実習に臨むことを期待します。